

最新鋭圧延機の始動式を行いました

既存圧延機の大幅改造で最新鋭圧延機に生まれ変わった新センチミア圧延機の完成を機に、各関係者にも参列いただき始動式を執り行いました。



神官による神事

最新鋭圧延機導入の経緯

受注構成の変化に伴い各圧延機の稼働状況に変化が生じてきていました。そこで当社の強みをより伸ばし、より効率的にみがき帯鋼製品の品質化を図っていくためには圧延機の更新が欠かせないと判断して、既存の 12 段圧延機を 20 段センチミア圧延機に大幅改造する戦略投資を行うことを決定しました。

最新鋭圧延機の強み

改造前の圧延機では製造することができなかった高品質 BA 製品をはじめ、原料圧延から極薄箔材の圧延までカバーし、圧延ロールやその他主要交換部品を他のセンチミア圧延機と共用化を図ることで固定資産の圧縮や工場スペースの有効活用が図れるようになりました。また、すべての製品厚みをカバーしたことで今後の受注構成の変化にも柔軟に対応でき、万一の他圧延機の突発的な休止にも対応できるようになりました。



下川社長による運転開始



新センチミア圧延機

主な改修内容ほか

- ①ワークロール小径化による極薄箔、高品質 BA 材への対応
- ②AGC（自動板厚制御装置）の更新による板厚制御の向上
- ③AFC（自動形状制御装置）の更新による形状制御性の向上
- ④その他主要機器の増設・更新による、品質・作業性の向上

製造範囲：板厚 0.050mm～4.3mm、板幅：350～710mm

最高圧延速度：600m/min

設備投資額：約 10 億円

以上